

# デザイン画製作(笑った顔・怒った顔)に向けて

保育のねらい・細かい所まで気づき、最後まで作品製作に取り組む。

対象:3歳児すみれ組

作成者:池下桃代 作成日:2019年1月24日



～1学期～  
・つまむ、ボタン  
掛け等、細かな  
点を遊びの中  
で楽しみました。



～2学期～  
・お菓子製作では、色塗りから飾り付けまで、より自分らしさを感じられる製作になるよう、取り組みました。また、友達とも「〇〇くんケーキどれにする？」と相談しながら取り組めるようになりました。

～3学期～  
・指先に力を込めて、粘土をこねて乗り物を作りました。また、友達と見合いっこをしながら色を選んで製作出来るようになりました。

## 保育の振り返り

・1学期までは、自分の世界の中で没頭して遊び込んでいた子ども、2学期からは、お菓子製作や、行事等で、たくさん関わっていく中で、友達と一緒に過ごして製作や遊びをする方が、より楽しいと思ってきたようです。(協同性)

製作をする中で、指先の力はとても必要になってきます。ですが、1年を通して、集中して遊び込んできたこともあり、3学期のデザイン画製作では、保育者が「赤と青を混ぜたら何色になる？」と聞くと、「色混ぜしてみる！紫色！」と応え、最後まで諦めずに作り上げる姿が見られました。(思考力の芽生え・豊かな感性と表現)また、友達の表情も自分で汲み取るようになり、普段の遊びの中では、「ちっちゃい子(乳児クラスの友達)泣きよる！どしたんだろ？」や「に～らめっこしましょ！」と会話がたくさん飛び交うようになりました。

ぜひ作品展では、お友達の表情や、色彩など、注意深くよ～くご覧になってみてくださいね。